

医療問題に関する特別委員会

研修視察報告

平成21年1月19日(月)～20日(火)

医療問題に関する特別委員会で「地域医療と病院経営」についての先進地の視察を行いました。

1月19日は、福岡県飯塚市にある(株)麻生飯塚病院で救命救急センターの視察と病院経営等について説明を受けました。

飯塚病院は、創設者の地域医療と住民の福祉に貢献したいという熱意から、大正7年に設立された病院であり、以来「郡民のために良医を招き、治療投薬の万全を図らんとする」という精神の元、地域医療に取組み、病院全体で質の高い医療を効率的に提供し、地域住民から信頼されている病院でした。

1月20日は、福岡県八女市にある公立八女総合病院で病院経営についての説明を受けました。

公立八女総合病院は、三町一村が開設する公立の総合病院だが、地方公営企業法の全部適用を行い公務員の組織から経営責任を明確化できる企業団とし企業長(病院長)に権限を集中し経営責任を負う改革をしていた。

特に市町村からの負担金もない中で、安定した経営と地域医療に携わる方々の見識の高さには深く感銘させられました。

また人事制度面においても年功序列の廃止や努力した者が報われる体制とし、医師には業績手当を支給し、全職員賞与も決算賞与としていた。効果として、医師は時間外が減り、医師の時間外が減ることにより職員の時間外も減り効率ある医療が実現されました。

説明の中で、健全経営は病



飯塚病院



公立八女総合病院

院経営の目標ではあるが目的ではない、病院経営の目的は質の高い安全な医療を地域に提供することと話されました。今回の視察で委員たちは、厳しい医療情勢の中、地域の基幹病院として安定した経営

基盤の確立には、医師の確保やコスト削減だけではなく、病院をあげての改革に取り組む姿勢や熱意、そして、管理者の専門性、事務部門の専門性が必要であると実感しました。山武市でも国保成東病院の経営改善は急務であり、今回の視察研修の成果を活かし、問題解決に努力していきます。

医療問題に関する特別委員会

- 委員長 小川 吉孝
- 副委員長 宍倉 弘康
- 委員 高橋 忠
- 委員 秋庭 久夫
- 委員 井野 敬一
- 委員 小川 一馬
- 委員 市川 陽子
- 委員 越川 哲